



令和5年4月17日

都市交通対策室

シェアサイクルの商店街連携調査結果を公表します

川口市では、シェアサイクル実証実験の一環として、市内の2商店街（川口銀座商店街振興組合及び西川口並木商店会）及びOpenStreet株式会社と連携してシェアサイクルを通じた広告の効果を調査し、次の2点が明らかとなりました。

- ① シェアサイクルユーザーにWebアプリを通じたクーポンを付与することで、特定のステーションの利用を促すことが可能であること。
- ② 沿道にステーションを設置することで、商店街に新たな人流が発生し、買い物行動が促され、市内経済の活性化に寄与し得ること。

1 調査概要

市内の2商店街付近に設置した臨時ステーションに自転車を返却したユーザーに、Webアプリで130円分の無料乗車クーポンを付与し、返却ユーザー数の増減を調査するとともに、返却後のユーザーの行動をアンケートで調査しました。

2 調査期間

令和4年9月13日から令和5年1月10日まで

3 設置場所及び設置ラック数

臨時ステーション名	設置場所	設置ラック数
樹モール	川口市栄町3-11地区内	13基
並木町北公園	川口市並木3-33 並木町北公園内	10基

4 Webアプリを通じた広告

クーポンが付与されることを、臨時ステーションのほか、周囲のステーションでも広告することにより、各臨時ステーションの利用を促しました。



アイコンをタップすると、川口駅に最も近いステーションではなく、樹モールへの返却を誘導する広告が表示される。



5 調査結果

(1) 返却回数

臨時ステーション名	9月	10月	11月	12月	計
樹モール	256 ^{※1}	861	440	469	2,425
並木町北公園	-	91 ^{※2}	382	100	573

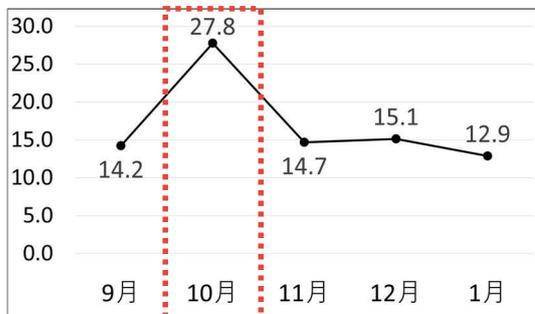
※1 9月13日から30日までの18日間

※2 10月4日から31日までの28日間

(2) 1日当たりの平均返却回数

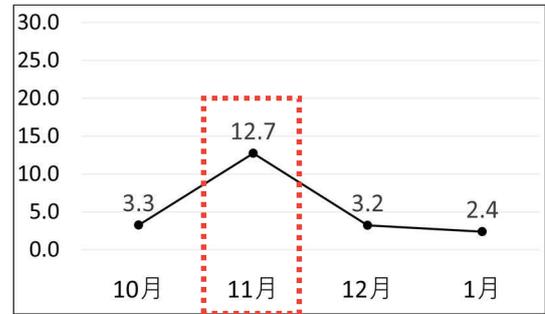
クーポンを付与した月の1日当たりの平均返却回数は、前月と比較し、樹モール（グラフ1）では2.0倍、並木町北公園（グラフ2）では3.8倍に向上しました。

■ 樹モール（グラフ1）



クーポン付与

■ 並木町北公園（グラフ2）



クーポン付与

(3) アンケート調査結果

臨時ステーション名	対象者数	回答者数	回答率
樹モール	602	65	10.8 %
並木町北公園	295	41	13.9 %

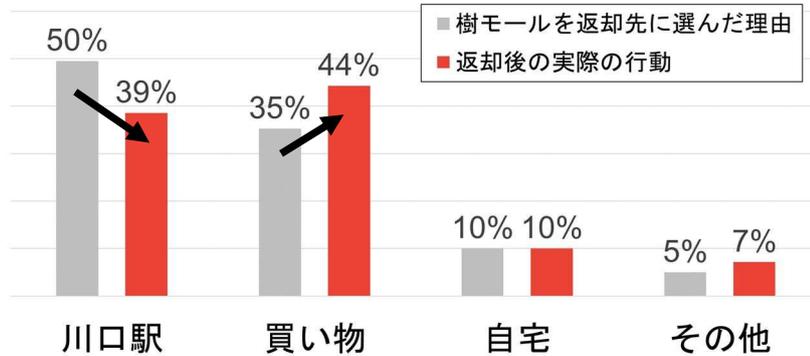
(4) 返却後、買い物をした割合及び平均金額

アンケート調査の結果、臨時ステーションにシェアサイクルを返却した後、付近の店で買い物をした割合は、樹モールで44%、並木町北公園で22%となりました。また、買い物の平均金額は、樹モールで1,407円、並木町北公園では1,057円となりました。

臨時ステーション名	返却後、買い物をした割合	買い物の平均金額
樹モール	44%	1,407 円
並木町北公園	22%	1,057 円

(5) 返却先を選んだ理由と、返却後の実際の行動の比較

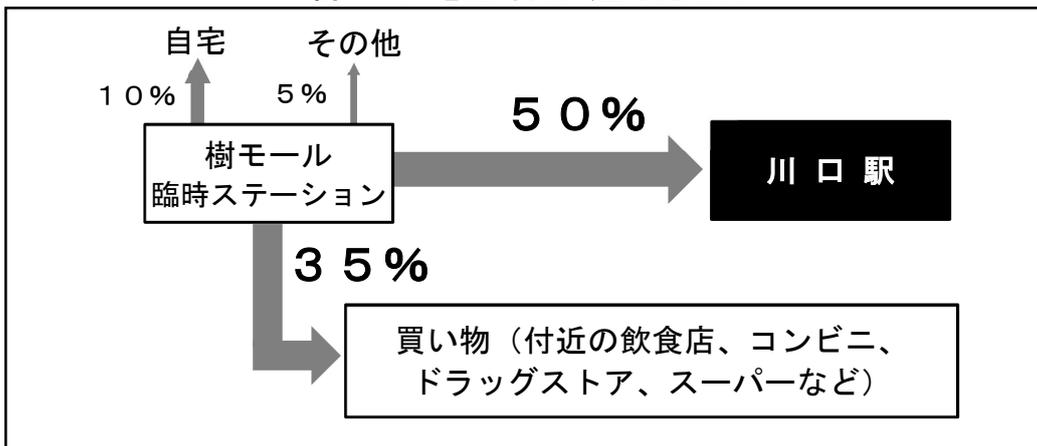
樹モールを返却先を選んだユーザーのうち、50%が川口駅に近いこと、35%が付近の店で買い物をすることを理由として挙げましたが、返却後、実際に川口駅に向かったのは39%であった一方、付近の店で買い物をしたユーザーは44%となりました。駅から離れた商店街にユーザーを誘導することで、駅に向かう途中の商店街における買い物行動を促すことができる可能性が示されました。



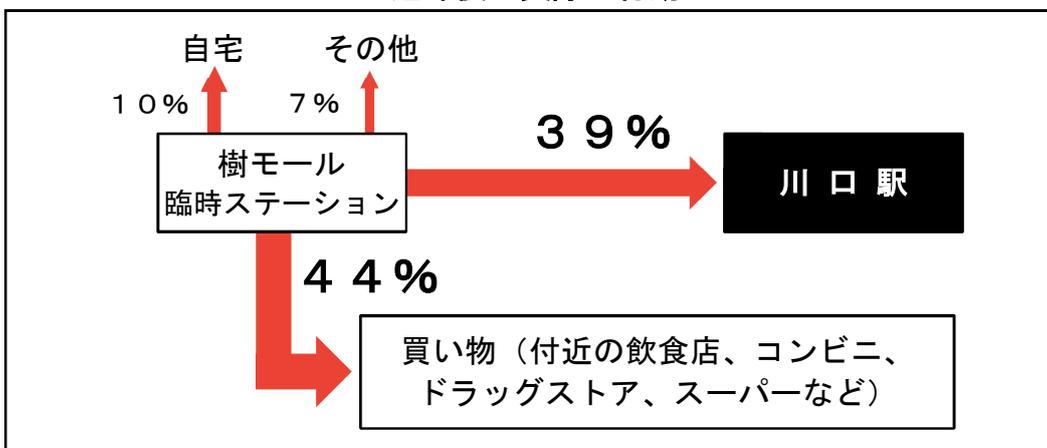
※ 並木町北公園（西川口並木商店街）はサンプル数の関係で掲載省略

※ その他は、公共施設、金融機関、勤務先など

樹モールを返却先を選んだ理由



返却後の実際の行動



問い合わせ
都市交通対策室
室長：村田 室長補佐：西村
(直通電話) 048-242-6349

シェアサイクルについて

シェアサイクルとは、自転車を共同利用（シェア）し、任意のサイクルステーションで自転車を借り、借りたステーションでなくても返却できる利便性の高い新たな交通システムです。

公共交通の機能を補完し、観光振興や地域の活性化等に資するなど、公共的な交通として重要な役割を担っているとされています。

1 シェアサイクルの特徴

スマホで手続き

ステーションの検索、料金の支払い、貸出・返却の予約も、全てスマホで。

どこでも貸出・返却

全国どのステーションでも、貸出・返却が可能。

料金体系

利用開始30分まで 130円
 延長15分ごと +100円
 12時間まで 最大1800円



2 シェアサイクル実証実験について

実施期間	令和3年3月26日～令和6年3月末（3年間を予定）
目的	公共交通の機能補完、路上駐輪の抑制、回遊性の向上、市内経済の活性化、コロナ禍における三密回避
事業者	OpenStreet株式会社 ※ 市と実証実験の協定を締結 ※ 国内最大級のシェアサイクルプラットフォームである「HELLO CYCLING」の運営等を通じ、ラストワンマイルにおける多様な移動サービスを展開中。
ステーション数	32か所
ラック数	269基 ※ 自転車の台数は、ラック数の約半分

3 川口市内のシェアサイクル利用実績

